

京都市の支援学校の

企業就職に向けた
取組について

平成27年11月11日(水)
京都市総合支援学校
(特別支援学校)
進路指導主事会

京都市内の支援学校(普通科)

- 京都市立北総合支援学校(上京区)
- 京都市立東総合支援学校(山科区)
- 京都市立西総合支援学校(西京区)
- 京都市立呉竹総合支援学校(伏見区)
- 京都市立鳴滝総合支援学校(右京区)
- 京都教育大学附属特別支援学校(伏見区)

京都市内の支援学校(職業学科)

- 京都市立鳴滝総合支援学校(右京区)
 - ・生活産業科
メンテナンス/クリーニング/福祉・介護
- 京都市立白河総合支援学校
 - ・産業総合科(岡崎キャンパス 左京区)
食品加工/農園芸/情報印刷
 - ・地域総合科(東山キャンパス 東山区)
地域コミュニケーション

京都市内の支援学校

高等部3年生

企業就労を目指すのは

94名

職場体験実習までの流れ

1 担当者が職場を訪問

- 職務分析
- 環境のアセスメント
- 通勤の仕方

実習が可能かどうかの見極め

2 生徒の人選

- 仕事内容のマッチング
- 職場環境のマッチング
- 通勤手段のマッチング

ジョブマッチングは大切な要素

3 実習先や生徒との打ち合わせ

- 実習先とは
具体的な内容の詰め
- 生徒とは通勤の仕方
実習の事前学習

失敗を防ぐ準備

4 本人の訪問

見学や面接としての位置づけ

- 職場を知る
- 仕事を知る
- 通勤手段を知る

本人・実習先共に不安を解消

5 実習の開始

必要に応じて担当者（教師）が付く

- 通勤への支援
- 仕事への支援

実態に応じてフェイドアウト

6 実習中

担任や担当者、保護者が参観に行く

- 実習先が困っていることの解決
- 本人が困っていることの解決
(実習ノートの利用)

実習中の課題にすぐに対応

7 実習の終了

まとめの会

- 実習の評価をしてもらう
(本人・保護者・学校)

今後の授業や次回の実習に活かす

8 雇用の見極め

- 雇用の可能性がある場合は最初に依頼する
- 実習を通して働けるかどうかを確かめる

OKの場合は再度の実習を組む

支援学校の生徒は

実習をさせていただける
(雇用をしていただける)

企業を求めています

デュアルシステム推進ネットワーク

協力企業と共に障害のある生徒の雇用をもとめています

- 総合支援学校職業学科をはじめとする総合支援学校生徒の企業就職を進めるために、企業とのパートナーシップによる長期企業実習や職業教育の在り方について検討する組織です。

デュアルシステム推進ネットワーク

参加企業 (50音順)

- ・京都経営者協会 ・オムロン株式会社
- ・キャピタル東洋亭本店
- ・株式会社川島織物セルコン ・京セラ株式会社
- ・グランドプリンスホテル京都
- ・株式会社ジーエス・ユアサ ウイング
- ・株式会社島津製作所
- ・株式会社聖護院ハツ橋総本店
- ・株式会社 高島屋 京都店
- ・宝酒造株式会社

デュアルシステム推進ネットワーク

参加企業（50音順）

- ・人事企画事務所 ネットワーク
- ・株式会社 ティー・エス・ケー
- ・株式会社ニッセンホールディングス
（株式会社u&n）
- ・日本新薬株式会社 ・株式会社堀場製作所
- ・株式会社元廣 ・株式会社 ユタカ
- ・株式会社 リストランテ ストラータ
- ・株式会社ワコール

生徒達が得意なこと

- 反復定型の仕事
同じことを繰り返す持続力
- 分かりやすい仕事
手順書や視覚支援の活用

真面目に一生懸命とりくめること

それ以外にも職域の広がり

- レジの仕事
- サービス業
- 事務系の仕事
- 福祉施設での後方支援業務

可能性は広がっています

まずは・・・

- お電話をください！
- 学校見学もOKです！
- できる方法を学校と一緒に
探って頂ければ幸いです

よろしくお願いします！！